

桜金属工業株式会社（本社工場）

群馬県太田市/輸送用機械器具製造業
<http://www.sakura-metal.co.jp/>

事業概要

桜金属工業株式会社は、ベアリングの専門メーカーとして、1937年に創業しました。以来ベアリング技術を生かし、自動車のエンジン部品を始めとして、各種産業機器用エンジン部品の製造に携わってきました。現在も日本の自動車技術においての一翼を担うとともに、各種エンジン分野において、世界で通用する製品を生み出しています。



本補助金事業では、アルミ部品の製造工程で使用する「アルミ溶解保持炉」を、省エネ性能の高いモデルへと更新しました。

事業者メッセージ

弊社では、ダイカスト製品の金型の設計・製作から製品の鋳造、加工、組付けまで一貫生産を行っております。鋳造工程では、アルミ溶解保持炉を6基保有しており、本補助金を活用して、そのうち1基を省エネ機能搭載の溶解保持炉に更新いたしました。旧型の溶解保持炉はエネルギー効率が低下していましたが、今回の更新により省エネ率が52.2%改善されたほか、生産性の向上や製品品質の安定化にも繋がりました。

今後もお客様や社会の期待に応え続けられるよう、計画的に省エネ設備への更新を進めながら、エネルギー効率の向上や環境負荷の低減を目指してまいります。

省エネ効果

エネルギー使用量

104.8 (kl/年)

省エネルギー量

54.7 (kl/年)

削減コスト

720(万円/年)

補助対象設備の
省エネルギー率

52.2 %

CO₂削減効果

126.7(t-CO₂/年)

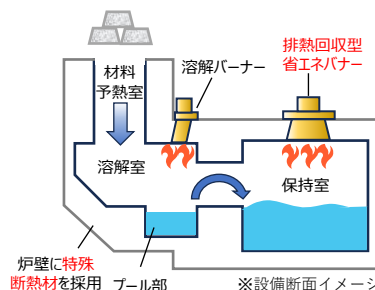
※ 削減コストは、LPG利用額：1kg当たり170円を乗じた値

令和3年度事業

| | |
|--------|-------|
| 補助対象経費 | 975万円 |
| 補助金 | 325万円 |

省エネのPOINT

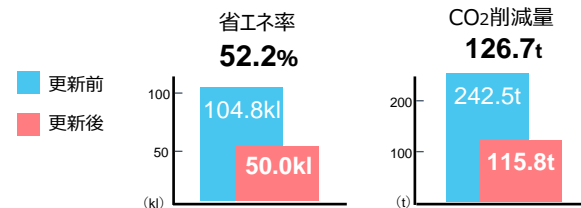
アルミ溶解保持炉の省エネ



アルミの原料を加熱して溶かす溶解炉と、溶かしたアルミ溶湯が鋳造されるまでに冷えて固まらないようにする保持炉が一体化したアルミ溶解保持炉。導入設備には以下の省エネ機能を搭載

- ✓ 燃焼排熱を保持炉の予熱空気として回収・再利用する「排熱回収型省エネバーナー」
- ✓ 保温性能に優れた特殊断熱材の採用により、炉壁からの放熱ロスを大幅に削減

設備更新の効果



導入設備



低炭素工業炉

| | |
|----------|--------|
| 種別 | 炉効率 |
| 燃焼式 | 33.1 % |
| 単位生産量 | 台数 |
| 0.30 t/h | 1台 |

